



新武蔵野クリーンセンター(仮称)建設事業 についてご説明します！



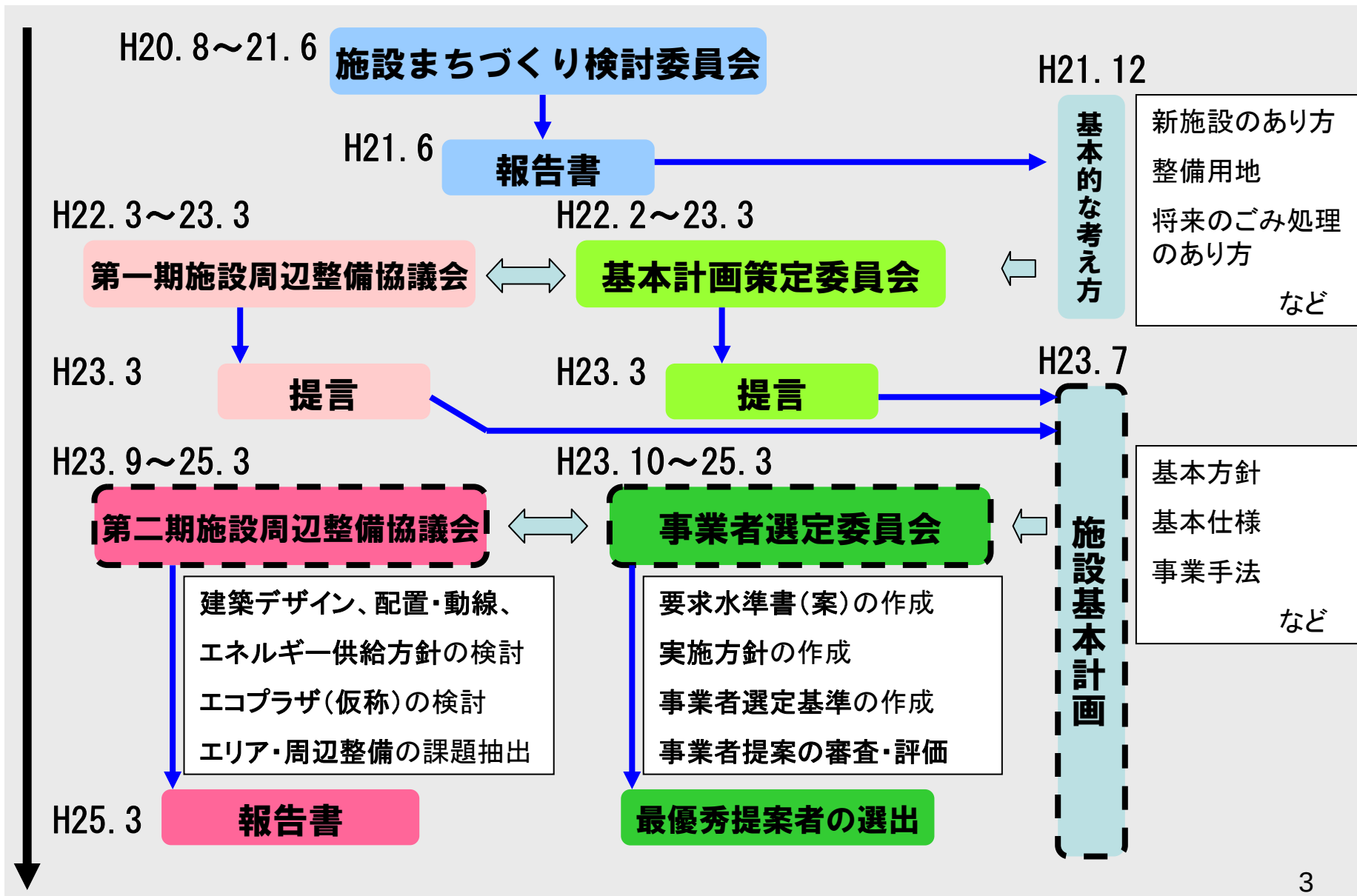
あれから28年が経過し
新たな時代に向けて！



武蔵野市環境部クリーンセンター¹

1 これまでの経過

新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業の経過



新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設基本計画（平成23年7月）

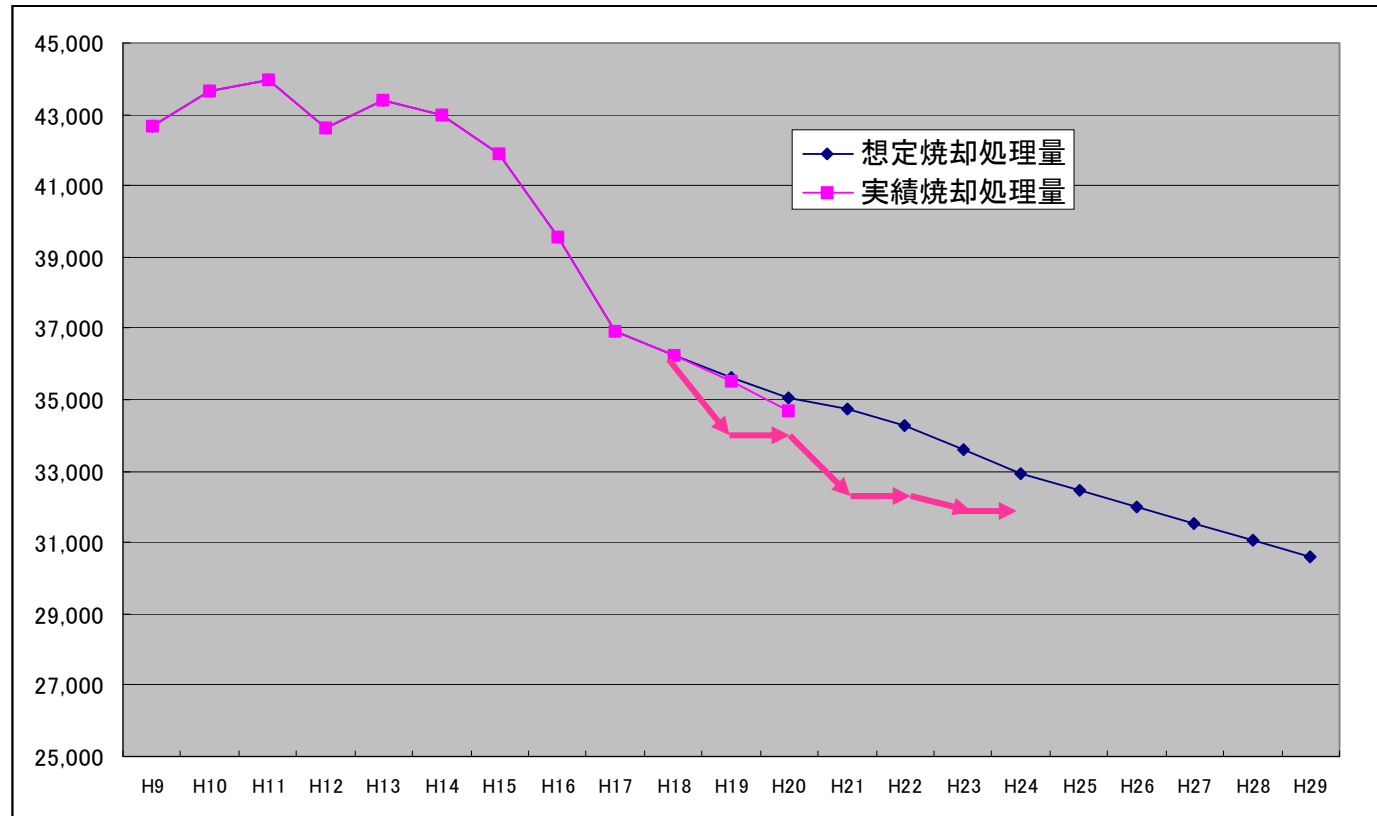
「ごみ処理施設の基本仕様」、「施設建設用地の使い方」、「周辺地域での生活環境調査の基準と具体的内容」、「施設の運営方式の選択と整備事業費の概算」、「次世代型環境文化施設としての機能付加の考え方」を具体化していくために設置された施設基本計画策定委員会の提言を基に新施設の基本的な計画をとりまとめたもの。

新施設建設計画を進めるための基本方針

- (1)「市民参加方式」の継続
- (2)「地球環境の保全」およびコストパフォーマンスに配慮した安全・安心な施設づくり
- (3)災害に強い施設づくり
- (4)エコな観点からの施設「エコセンター（仮称）」、「エコプラザ（仮称）」の整備の具体化
- (5)民間事業者の最新技術や運営ノウハウを引き出し、建設・運営コスト削減を図れる事業手法の採用と将来にわたる安全・安心な施設づくりの確立

焼却施設の規模

●将来の焼却ごみ量の予測（武蔵野市一般廃物処理基本計画）



○計画ごみ量は、平成29年度の減量化目標達成時の焼却ごみ量(30,607t/年)とする。＊平成24年度実績・31,819t/年

○焼却炉は、現施設の3炉から2炉とする。

○処理能力は195t/日から120t/日とする。

安全・安心に向けた規制

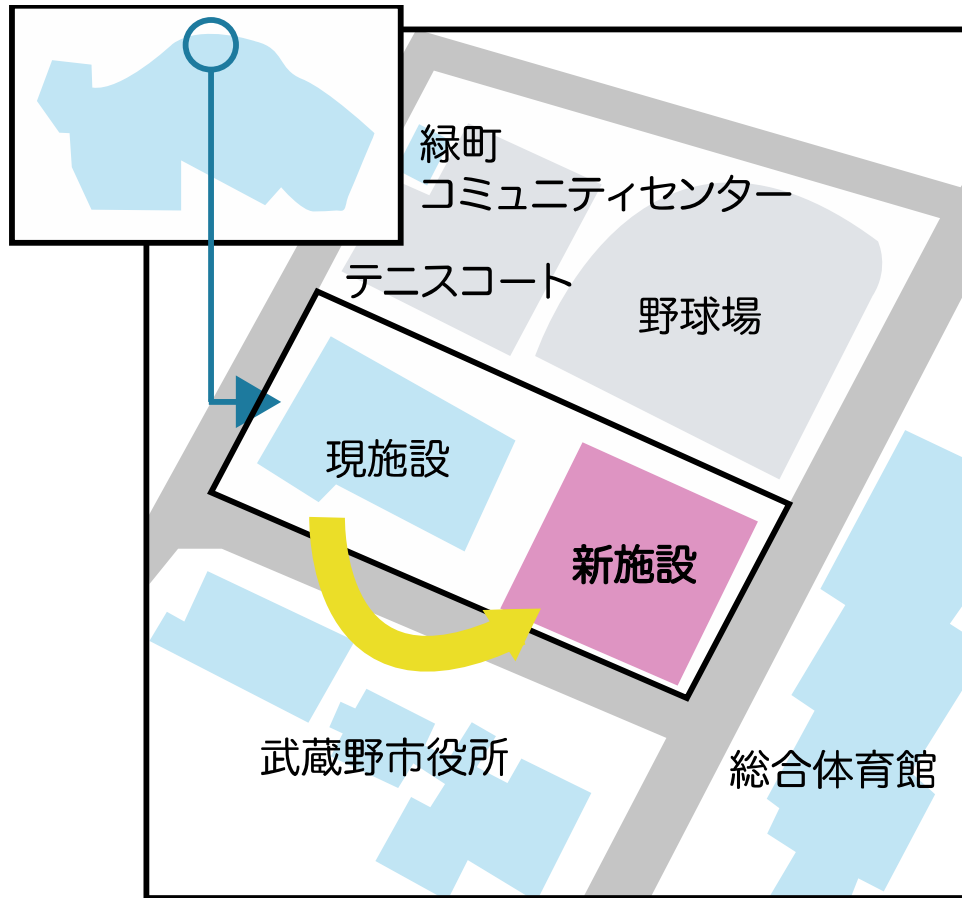
●排ガス規制値の設定⇒「安全・安心」の前提条件

新施設の排ガス自主規制値は、「東京二十三区清掃一部事務組合」及び「ふじみ衛生組合」が採用している全国トップレベルの自主規制値と同等とする。

項目	単位	法規制値※1 (大気汚染防止法等)	新施設 自主 規制値	参 考			
				現施設 自主規制値	東京都内の 主な規制値 (二十三区 清掃一組)	ふじみ衛生 組合の 自主規制値	全国の同規 模程度の ストーカ炉 の設計排ガ ス濃度等
ばいじん	g/m ³ _N	0.08以下 (焼却能力2～4t/h)	0.01以下	0.03以下	0.01以下	0.01以下	0.01以下
いおう酸化物 (SO _x)	K値	1.17以下	—	—	—	—	—
	ppm	(105程度)	10以下	30以下	10以下	10以下	20以下
窒素酸化物 (NO _x)	ppm	250以下	50以下	150以下	50以下	50以下	50以下
塩化水素 (HCl)	ppm	430以下※2	10以下	25以下	10以下	10以下	20以下
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ _N	1以下 (焼却能力2～4t/h)	0.1以下	1以下	0.1以下	0.1以下	0.1以下

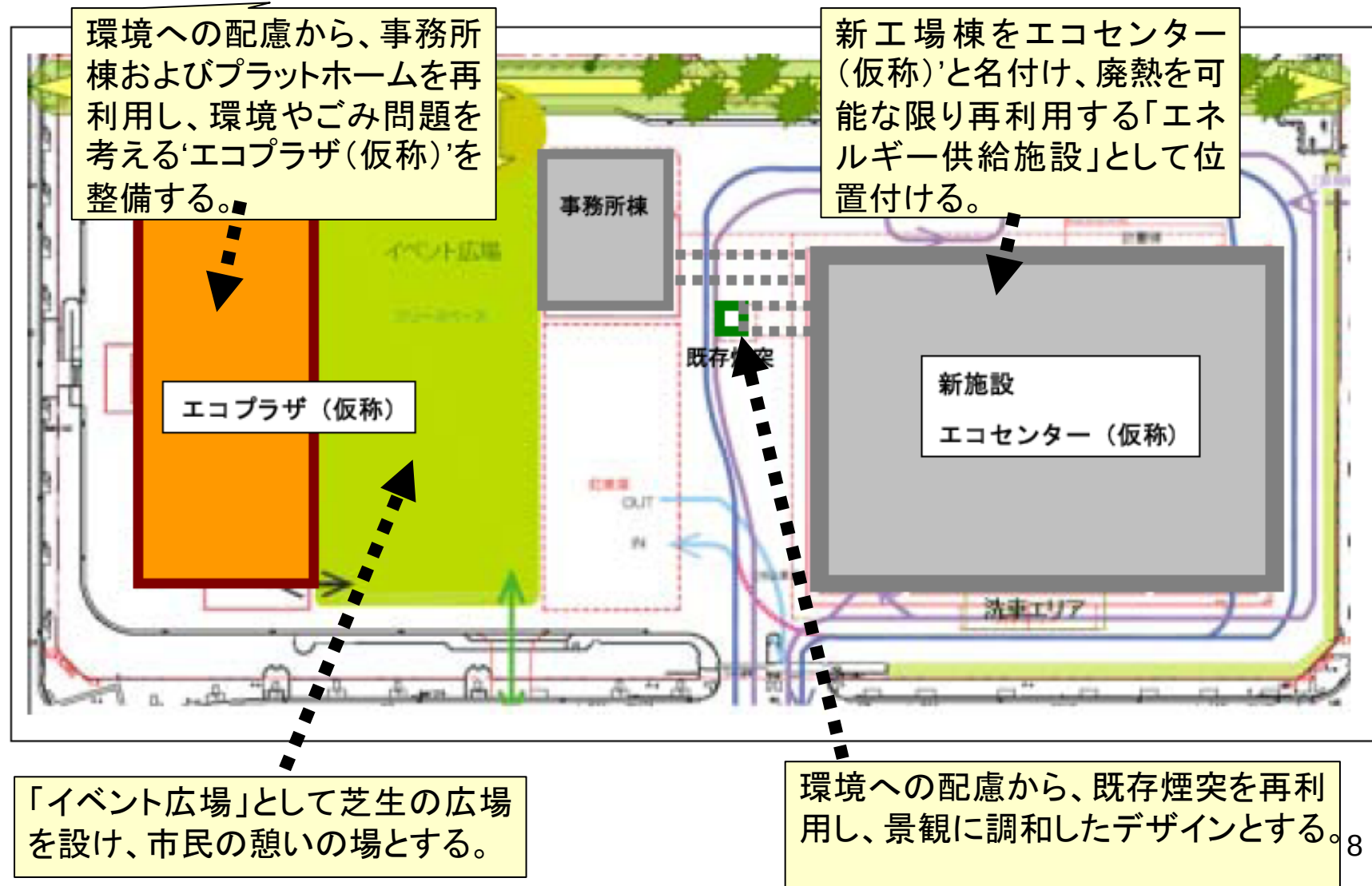
※一酸化炭素の数値は、運転管理上の数値を設定し、自主規制値としては設定しない。

建設地



近隣住民のみなさまのご協力のもと、市役所北側、現施設敷地内東隣を建設地としました。

新施設の整備計画



第二期新武蔵野クリーンセンター(仮称)施設・周辺整備協議会

【目的】

建築デザインや配置・動線などを検討し、事業者選定委員会作成の要求水準書(案)に反映させるとともに、施設・周辺整備についてさらに検討を進める。

【構成】

第一期の施設・周辺整備協議会(平成21～22年度)の委員を中心に、周辺住民枠及び関係市民団体の代表を追加。



【検討事項】

- 1 エコセンター(仮称)の建築デザイン方針
- 2 エネルギー供給方針
- 3 エコプラザ(仮称)の基本理念など



【報告書】

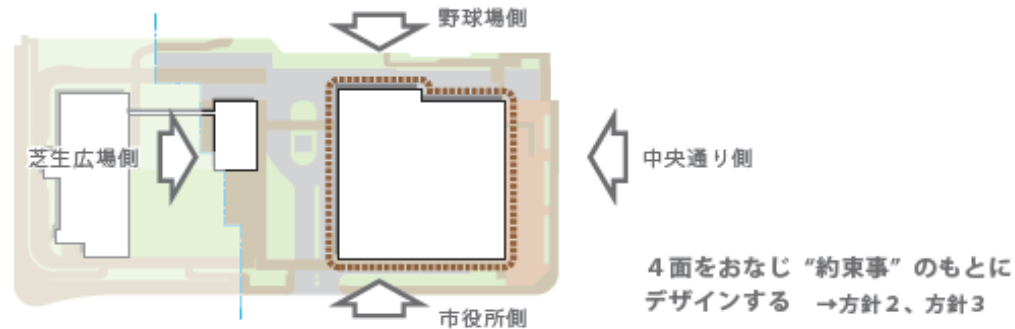
平成25年3月 報告書を取りまとめ、市長へ提出

検討事項 1 エコセンター（仮称）の建築デザイン方針（デザインコンセプト）

3つのデザイン方針

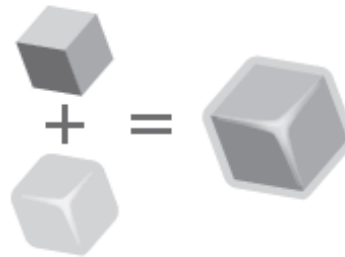
1 すべての面が
“オモテ” になるデザイン

face
front

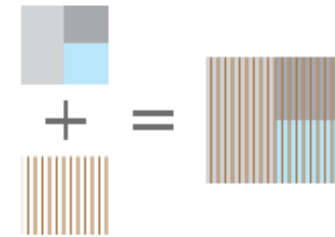


2 やわらかく
“やさしい” デザイン

friendly
soft



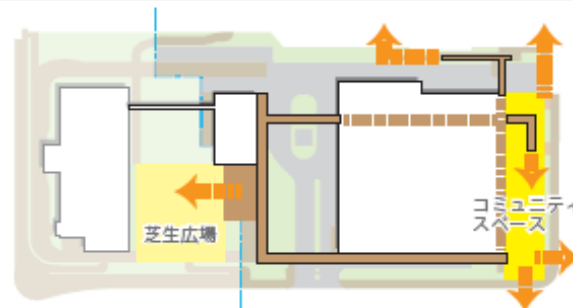
カドをまるめる“ベール”



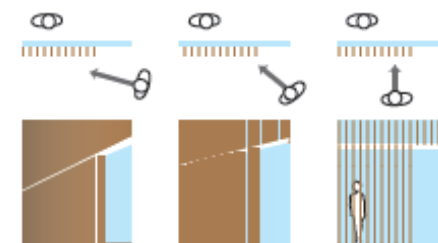
表情をやさしくそろえる“テラコッタルーバー”

3 いつでも
“人の姿を感じる” デザイン

lively
safe

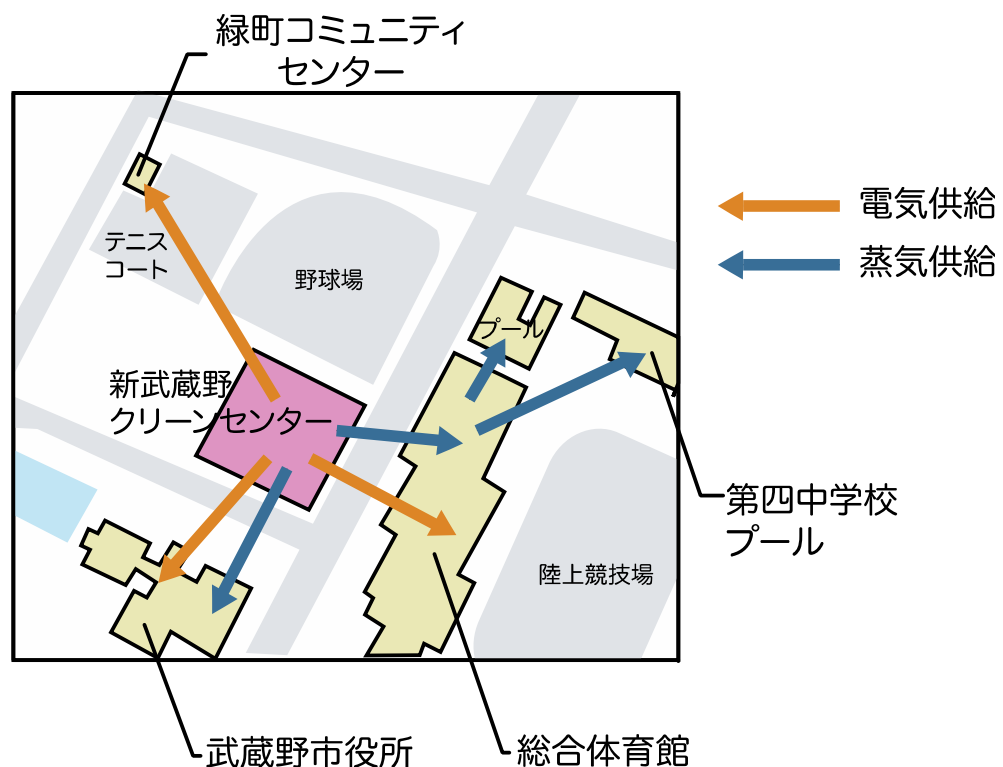


周辺とつながる広場やデッキ



場所によって変わる見え方を楽しむ

検討事項 2 エコセンター（仮称）のエネルギー供給方針



ごみ発電



屋上緑化

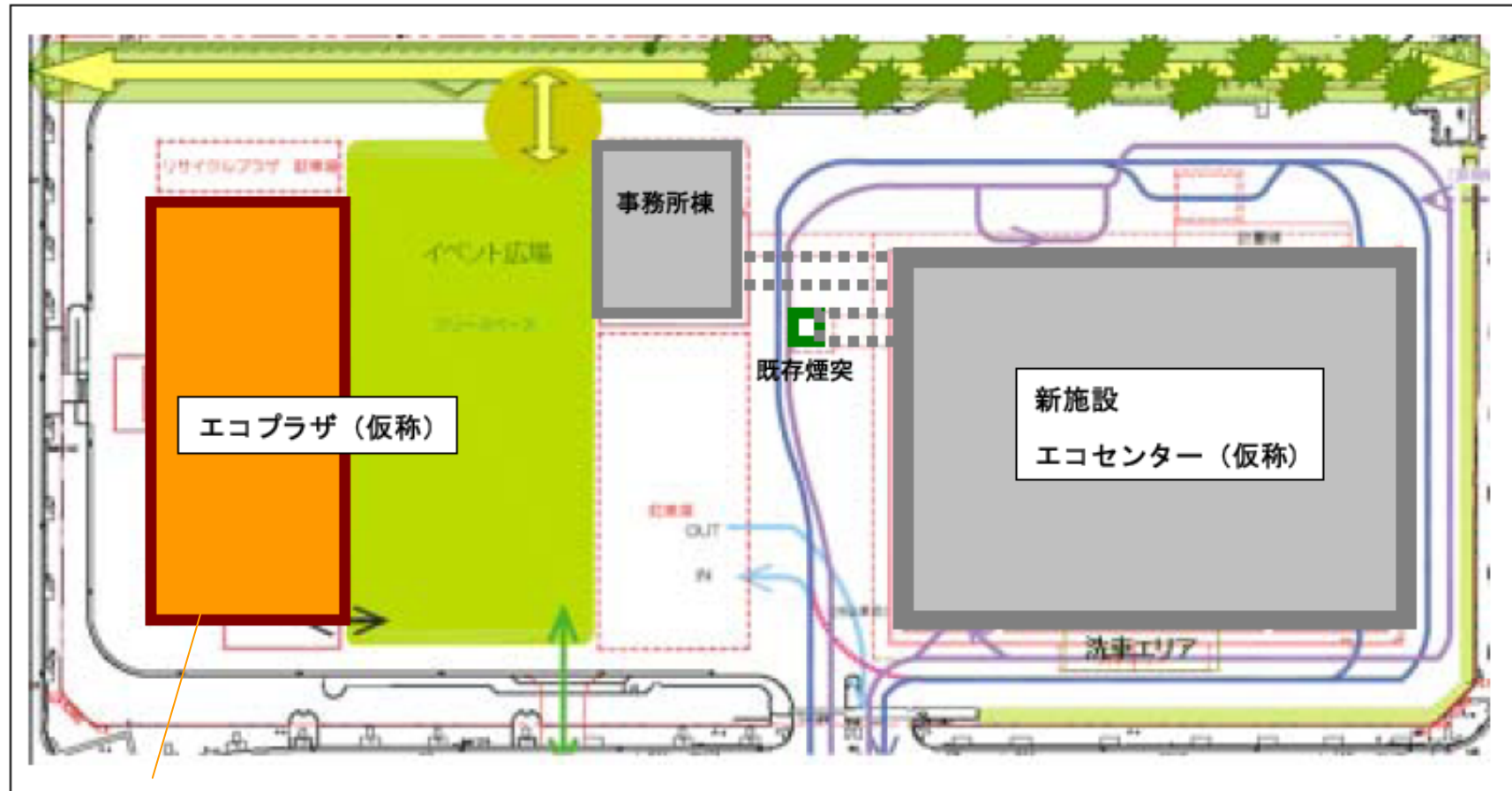


太陽光発電



- ごみ発電設備を導入し、市役所・総合体育館・緑町コミュニティセンターにエネルギー供給できるシステムを構築する。
- 補完設備として「ガス・コージェネレーション」を導入することにより、エネルギー供給施設として、周辺公共施設へ安定的にエネルギーを供給でき、かつ、災害時にもエネルギーを供給できるシステムとする。

検討事項 3 エコプラザの検討 → 次期以降の協議会で継続的に検討



環境への配慮から、事務所棟およびプラットホームを再利用し、環境・ごみ問題などを考える‘エコプラザ（仮称）’を整備する。

基本理念

- － 低炭素社会モデルの実現 ……低炭素モデルエリアを構築
- － “地域力”の向上 ……地域の活力の更なる向上へ
- － まちづくりとの連携 ……よりよいまちづくりに貢献

設置目的

- － 基本理念の実現に向けて具体的な取組を進める
 必要な視点 ライフスタイルを変える、ごみ減量につなげる

必要な機能

- － 環境啓発……学び(ごみから学ぶ)
- － リユース・リサイクル(アップサイクル)……創造(ごみから新たな価値あるものをつくる)
- － 交流・ネットワーク・情報発信……コミュニケーション(ごみを媒介に對話を生み出す)

運営のあり方

- － 全ての市民が利用でき、市民のしたいことをサポート
- － 人材育成、ネットワーク、地域力向上を重視

- アップサイクルの事例

- 藤浩志の美術展

- アーツ千代田3331にて



- 不要になった「おもちゃ」を素材とした作品。

- ピート・ヘイン・イークの作品

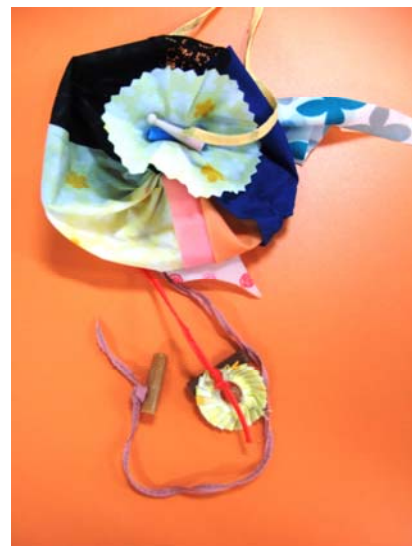
- CIBONE青山にて



- 廃材の素材としての魅力を引き出した作品。

検討事項 3 エコプラザの検討 → 次期以降の協議会で継続的に検討

CASA PROJECT 不要の傘を生まれ変わらせるプロジェクト



←第23回クリーンセンター環境講座
「いらなくなった傘でCASAストラップをつくろう」
参加者の作品

新武蔵野クリーンセンター（仮称）事業者選定委員会 （平成23年10月～25年3月）

【目的】

「施設基本計画」に基づき、DBO方式の事業手法により、要求水準書（案）を作成し、新施設の整備・運営事業における民間事業者の選定を公平かつ適正に実施する。

【構成】

学識経験者・専門家・市職員



平成23年10月～	要求水準書、選定基準等作成
平成24年10月	入札公告
平成25年2～3月	事業者ヒアリング、提案審査
平成25年3月	最優秀提案者を選定、市長へ報告

事業者選定の結果

- 落札事業者
 - 荏原環境プラント株式会社営業本部
 - 構成企業 鹿島建設株式会社
 - 落札金額
204億7,500万円
 - 整備費用 103億7400万円
 - 運営費用(20年間) 101億100万円
- 7月2日、市議会において工事請負契約の審議・議決を経て、本契約締結。

2 新施設の計画概要

コンセプト

周辺の方々をはじめ、市民にとって誇りとなる施設の建設を目指し、環境の保全に配慮した安全・安心な施設づくり、災害に強い施設づくり、景観及び建築デザインに配慮したコンパクトな施設づくりなどをコンセプトとしています。

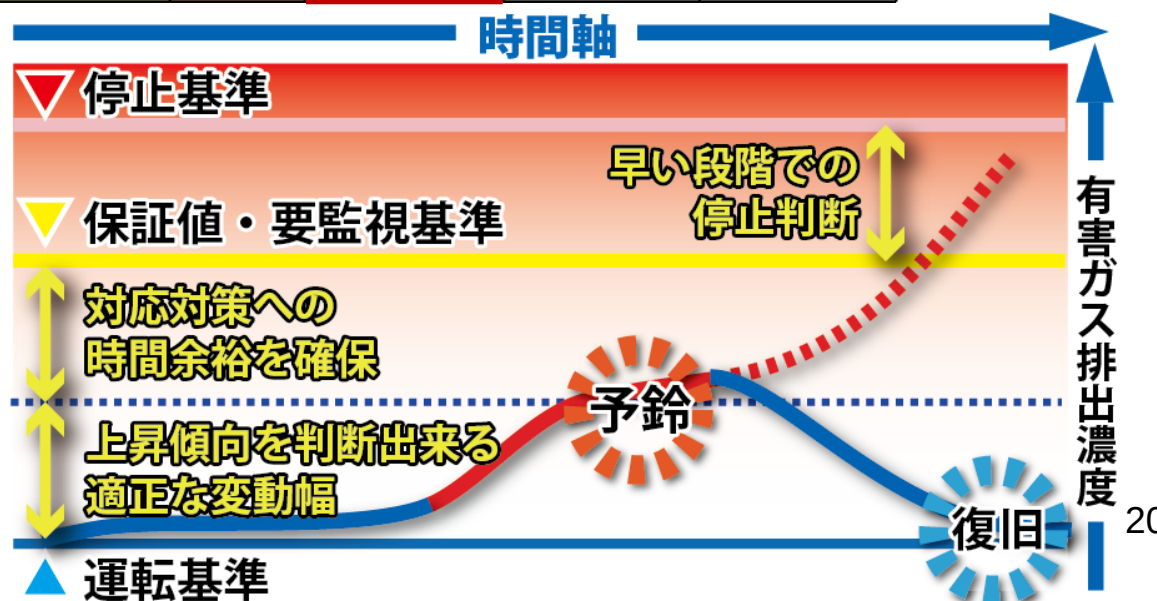


環境保全に配慮した安全・安心な施設づくり

物質	要求保証 停止基準		監視基準	予鈴警報	運転管理
塩化水素	ppm	10	8	7	5
硫黄酸化物	ppm	10	8	7	5
窒素酸化物	ppm	50	45	43	40
ばいじん	g/m3N	0.01	0.008	0.006	0.005
一酸化炭素	ppm	30	20	15	10以下
ダイオキシン類	ng- TEQ/m3NTP	0.1	0.05	—	—

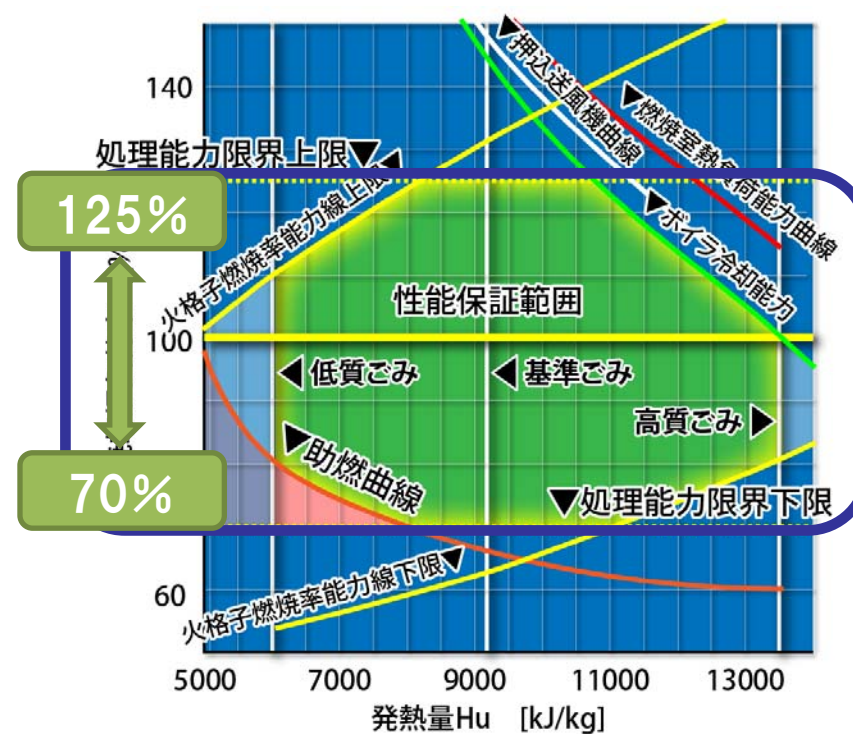
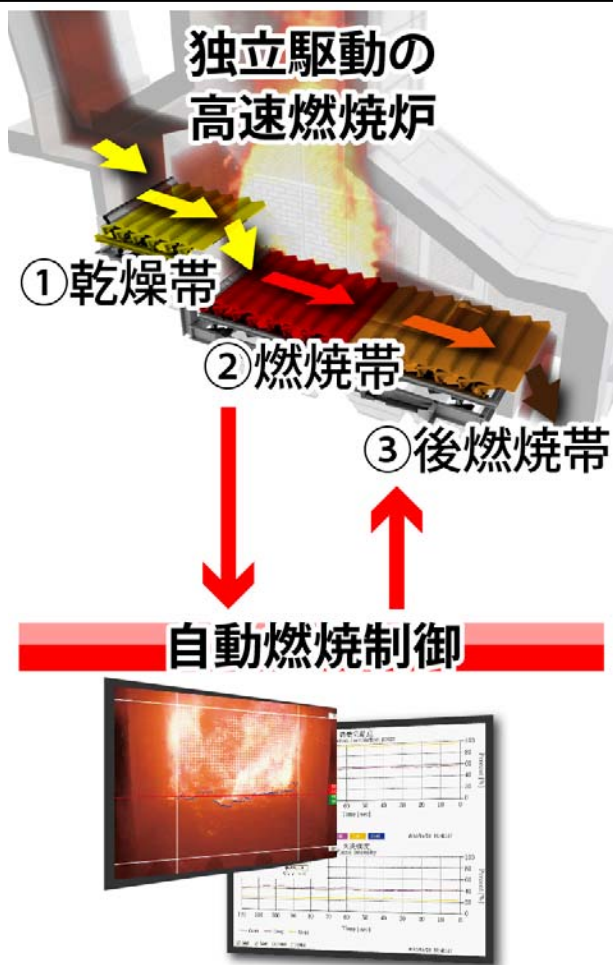
新施設の排ガス自主規制値は、
「東京二十三区清掃一部事務
組合」などが採用している全
国トップレベルの自主規制値
と同等とする。

⇒事業者による監視基準、予
鈴警報、運転管理を設定

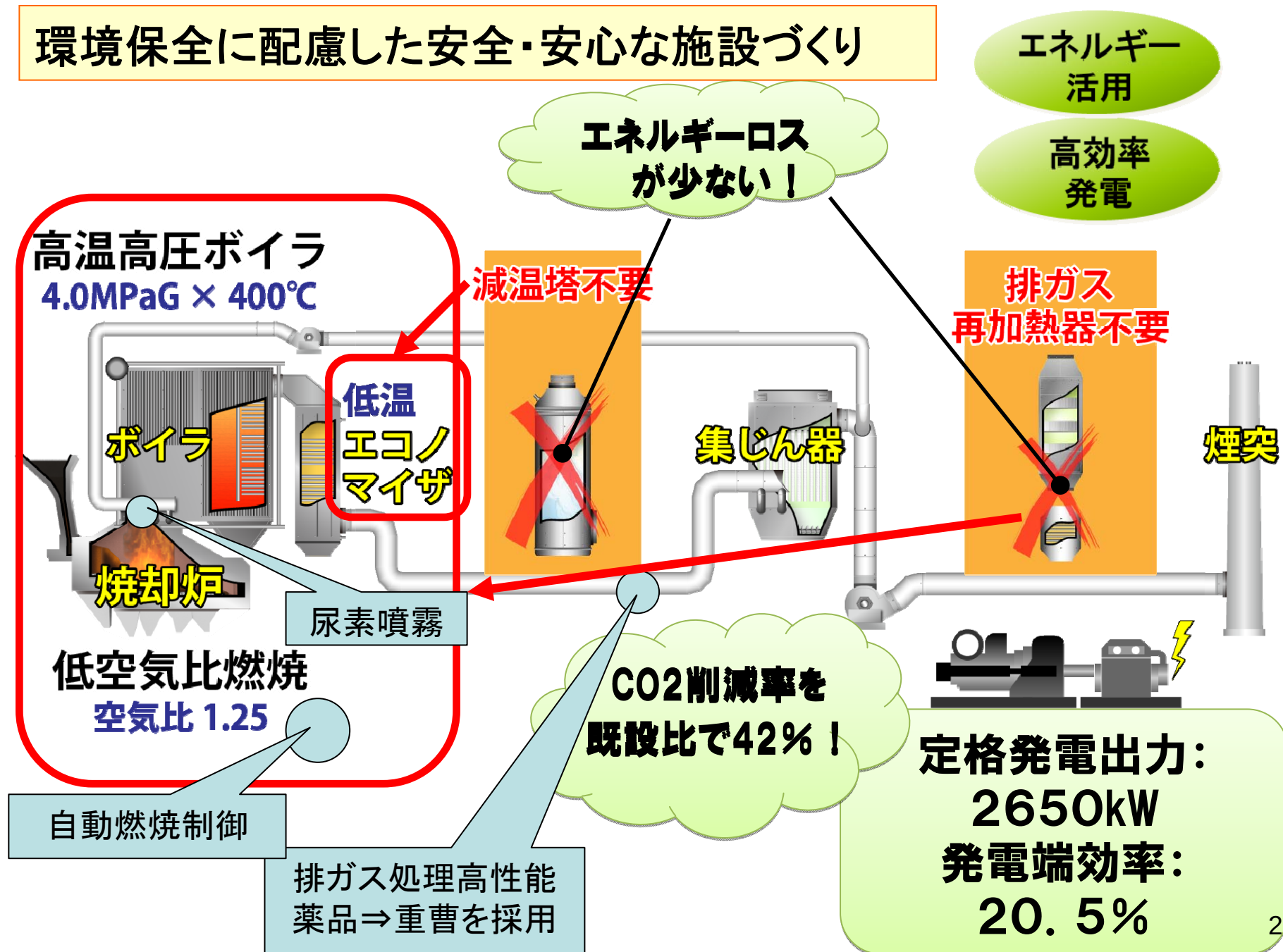


環境保全に配慮した安全・安心な施設づくり

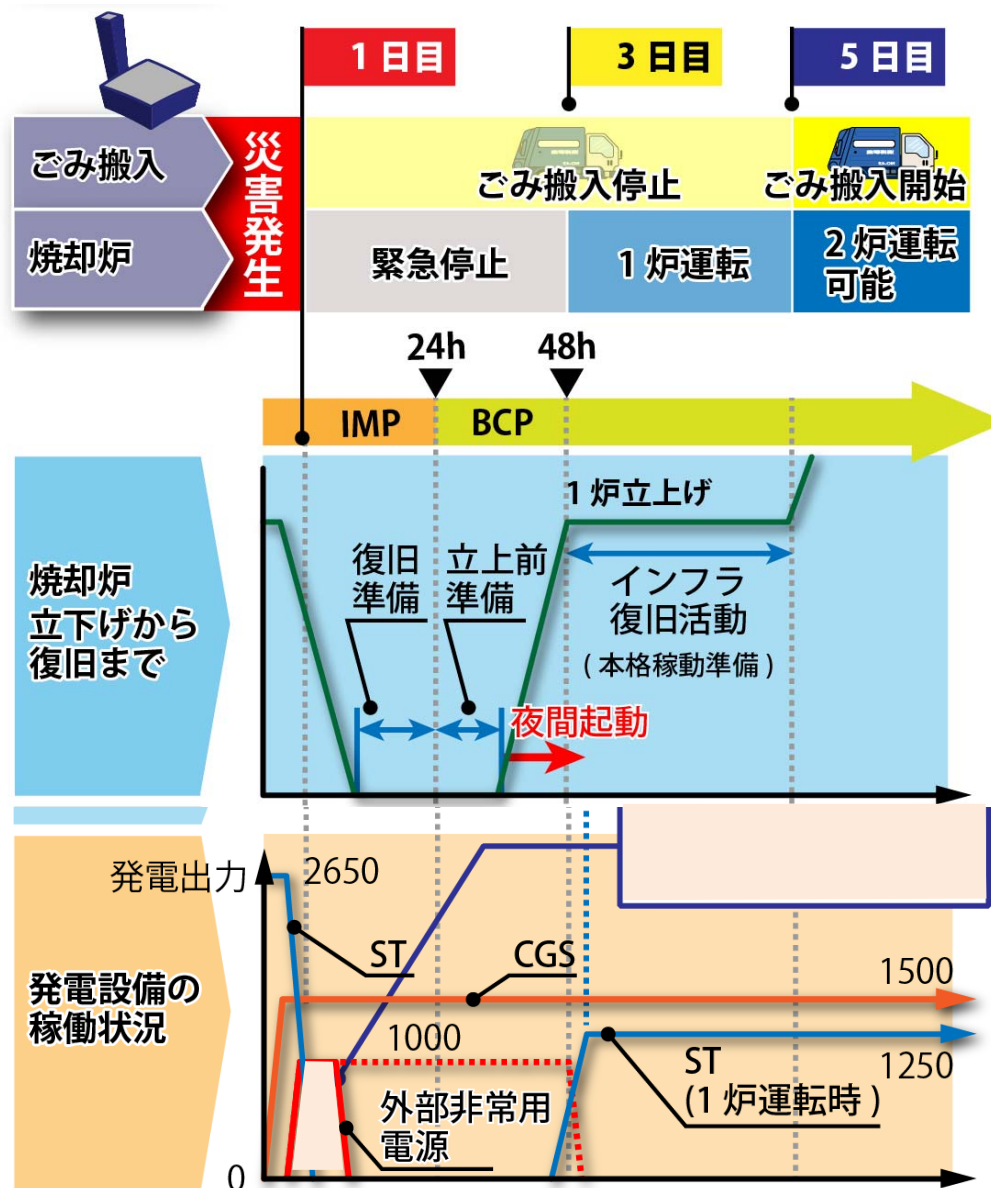
最新鋭高速焼却炉(ストーカ炉)の採用



環境保全に配慮した安全・安心な施設づくり



災害に強い施設づくり



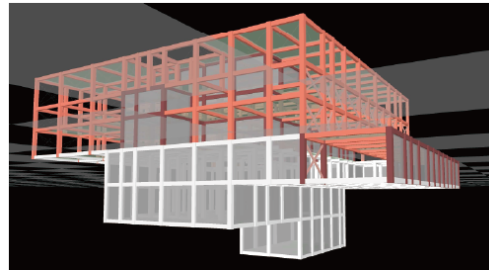
ごみ処理
の継続

地域の自立計画
を強力に
サポート！

コジェネ
運用方法

災害に強い施設づくり

耐震設計
の考え方

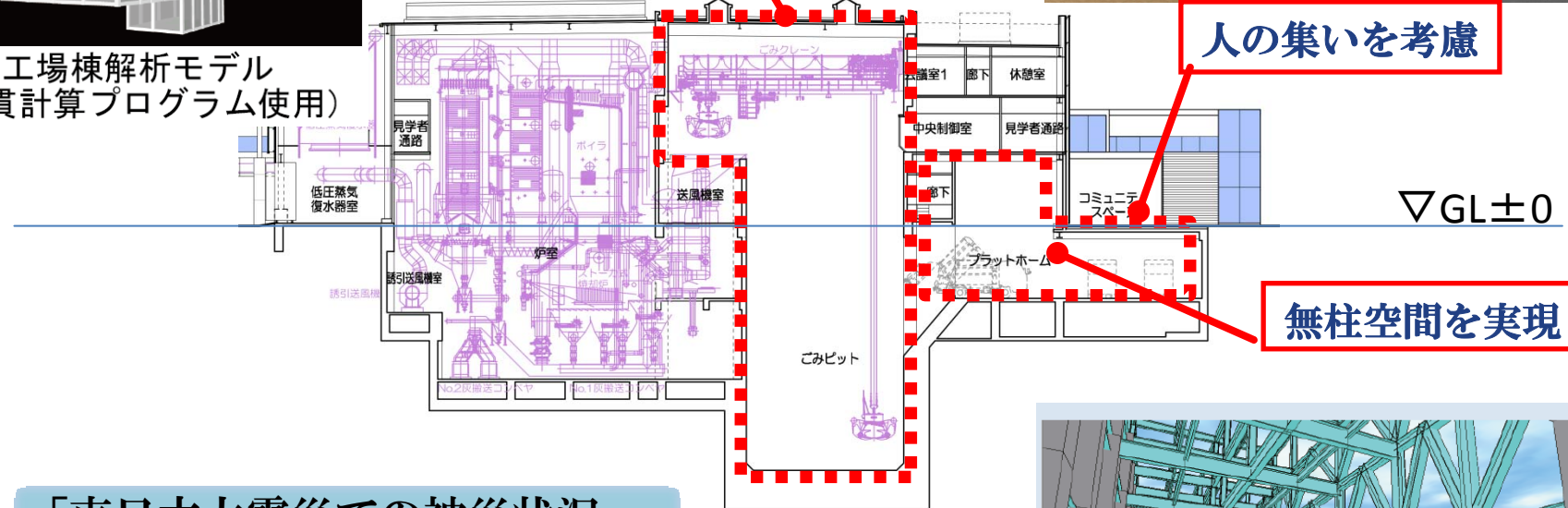


工場棟解析モデル
(一貫計算プログラム使用)

臭気に配慮



人の集いを考慮

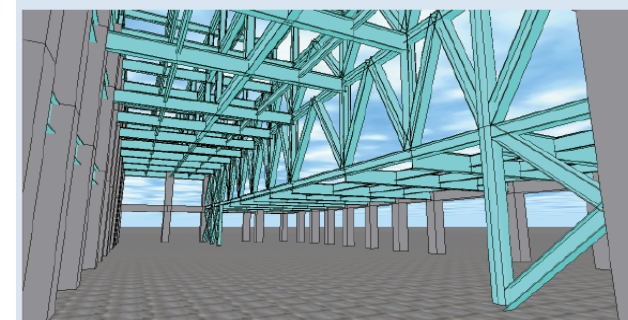


無柱空間を実現

「東日本大震災での被災状況
調査に基づく独自の設計基準」

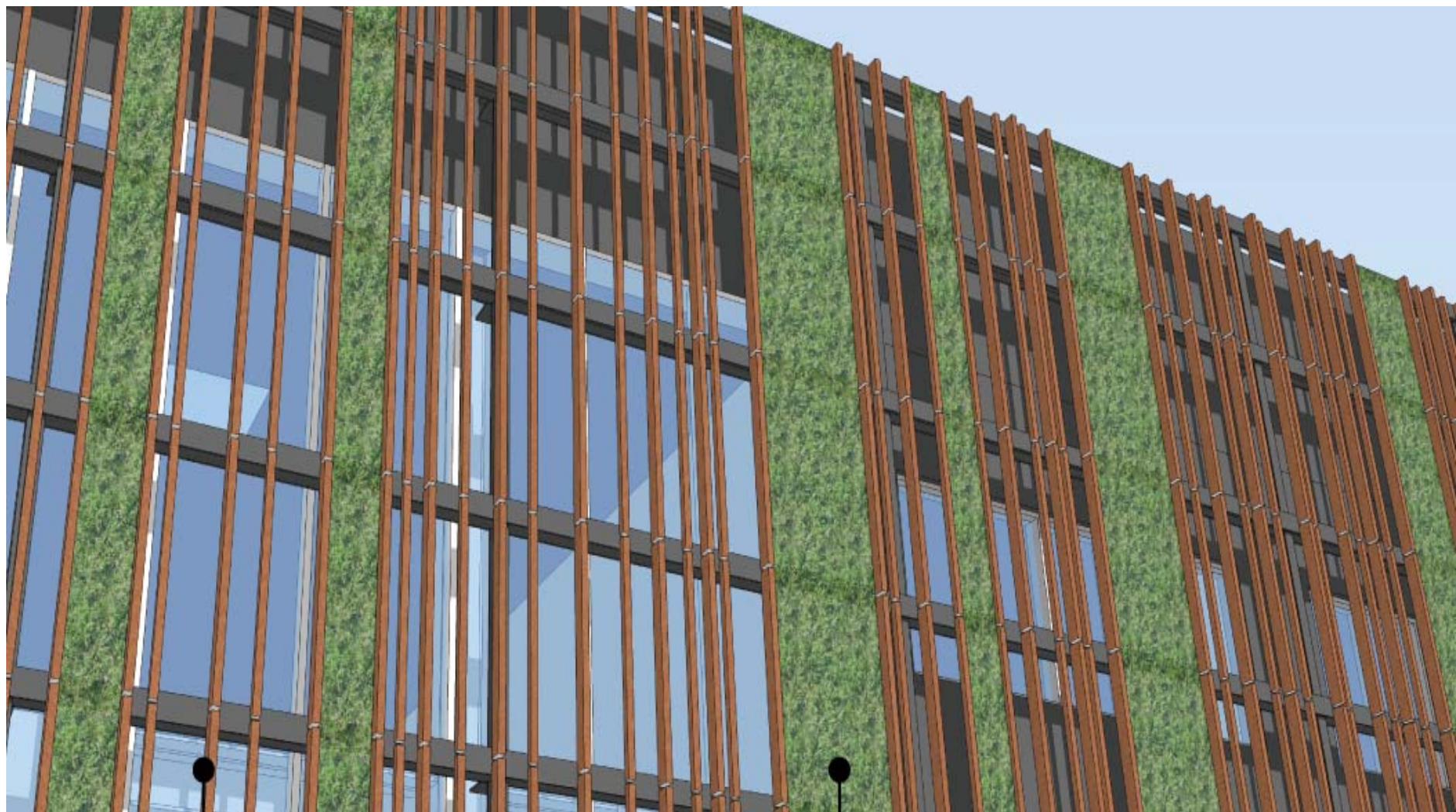
「国土交通省の天井の耐震設計
に関する告示」を反映

施設断面図



トラス構造を用いて柱を無くした
プラットフォームの構造モデル

景観及び建築デザインに配慮した施設づくり



— テラコッタルーバー

— 壁面緑化

景観及び建築デザインに配慮した施設づくり

コンパクトで凹凸が少なくプラントらしさを感じさせない建物

どの面から見ても揃ったスカイライン

「武蔵野の雑木林をイメージした外観デザイン

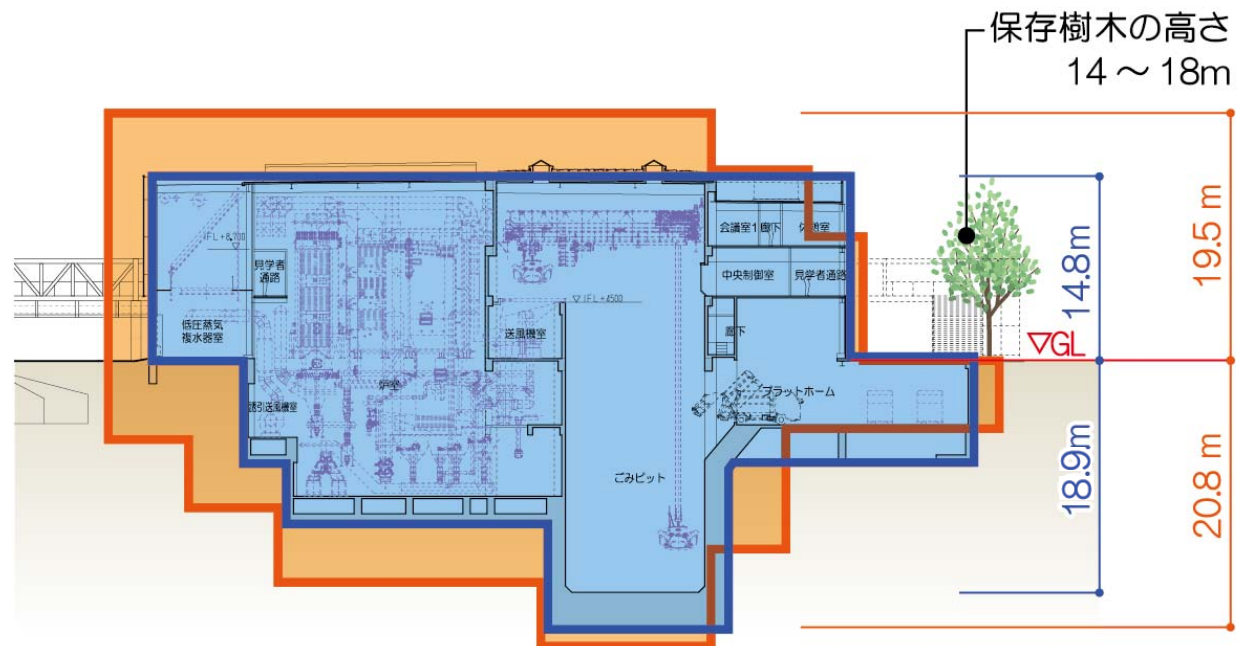


市役所交差点から見たイメージ図

低く抑えた建物高さ
(3階建て)

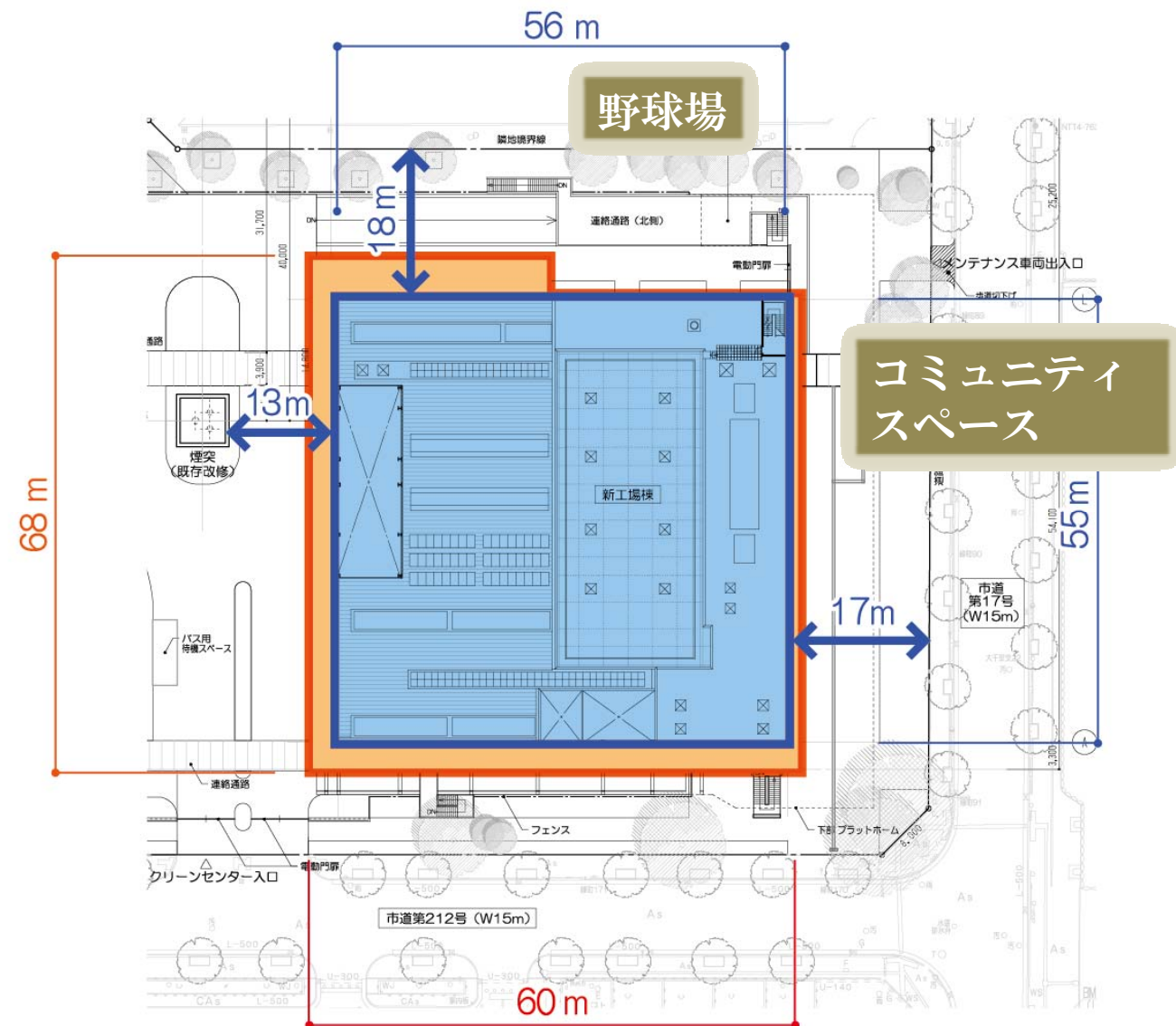
外壁面からはガラリなど、プラントらしさを感じさせる要素を排除

景観及び建築デザインに配慮した施設づくり

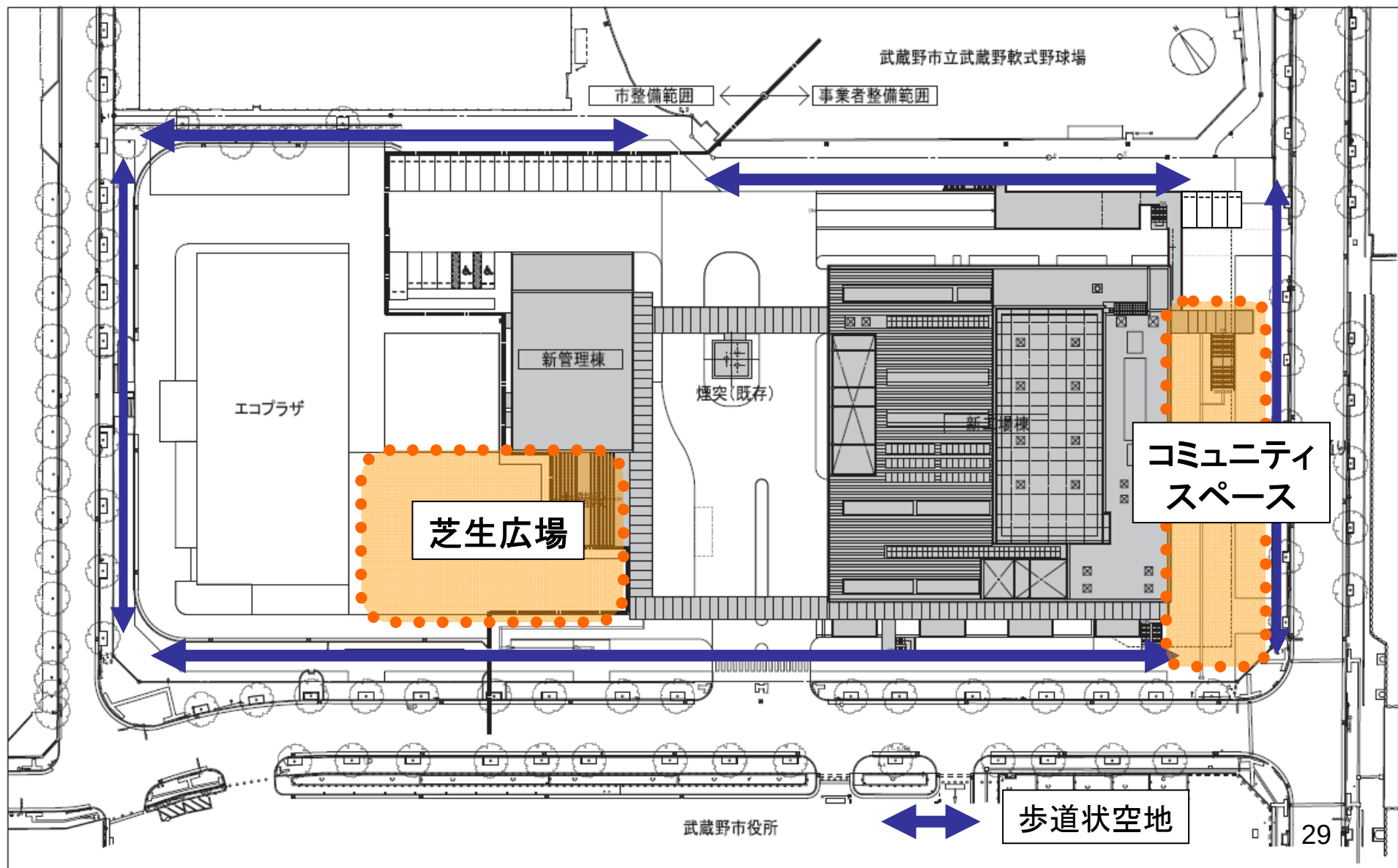


- 本計画
- 要求水準書添付図

景観及び建築デザインに配慮した施設づくり



配置図



コミュニティスペースイメージ



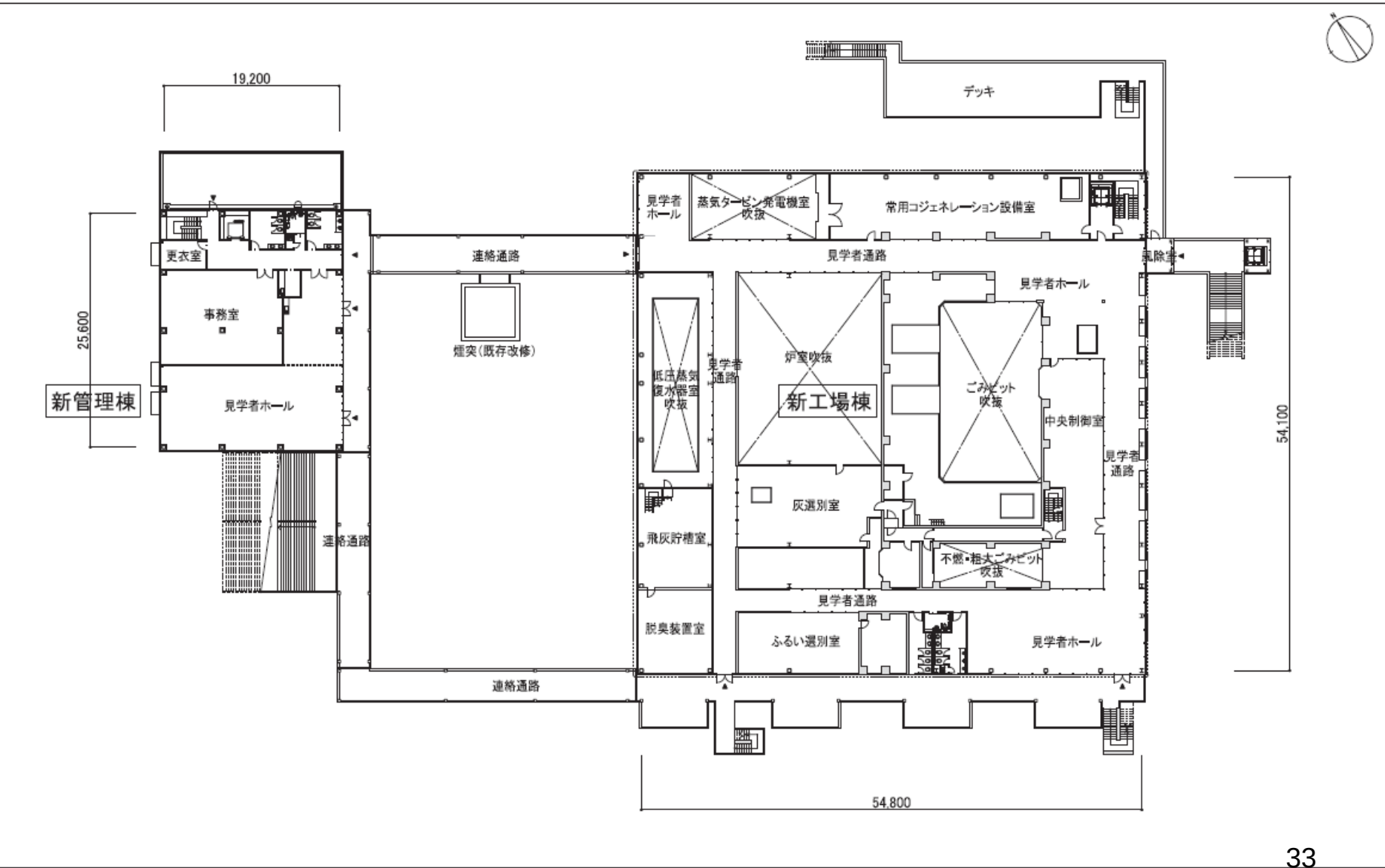
↑「武蔵野エコマルシェ」の開催イメージ

地下化したプラットホームの上部は公開空地「コミュニティスペース」を整備します。環境に関するイベントなども開催することができます。 30

######

######

平面図 2階



2階 見学者コースイメージ

●プラント設備を臨場感をもって体感することのできる見学者コースのイメージ



2階 見学者コースイメージ



ごみ処理工場の流れを紹介



焼却炉室のイメージ

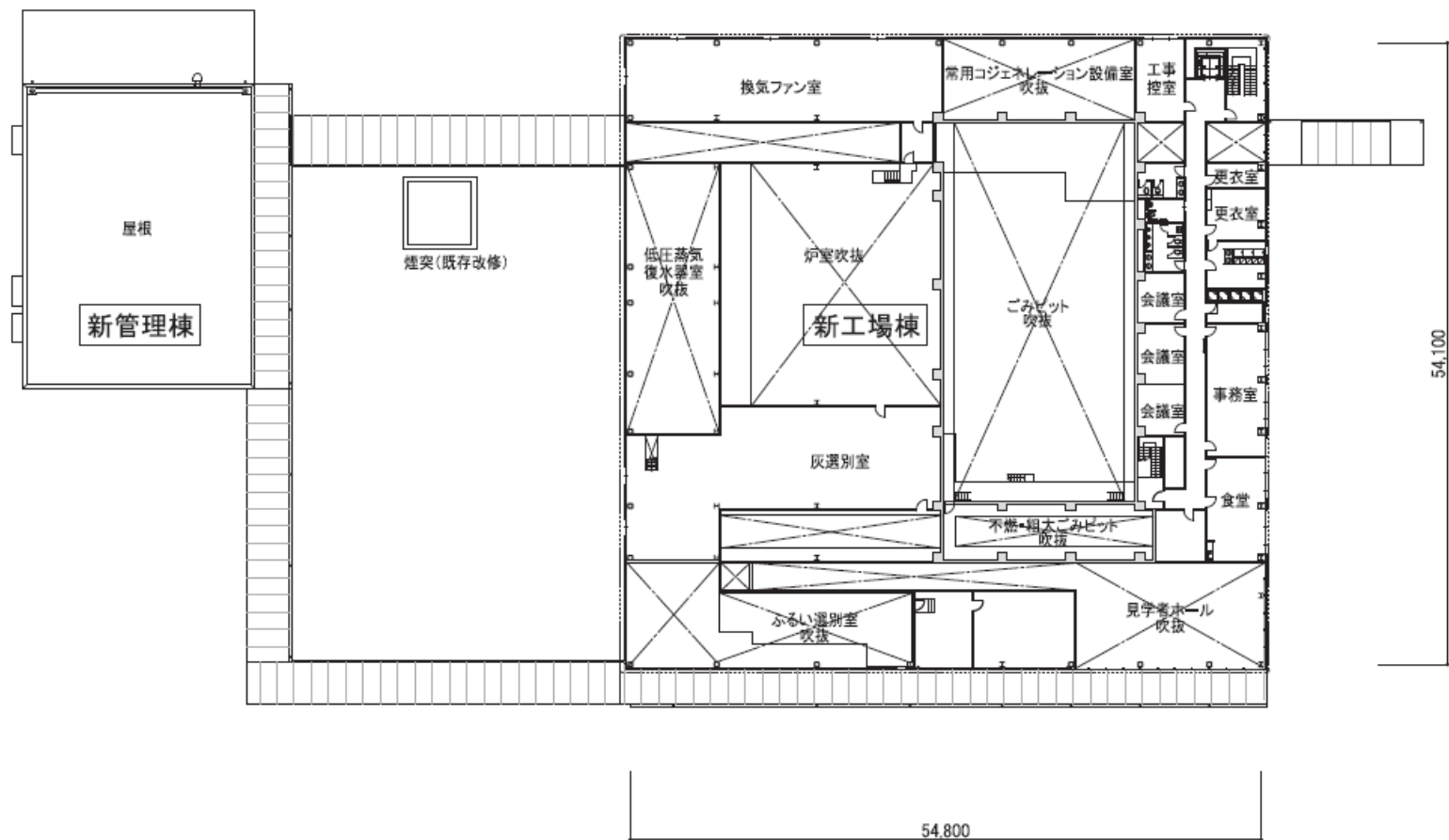


蒸気タービン発電機のイメージ

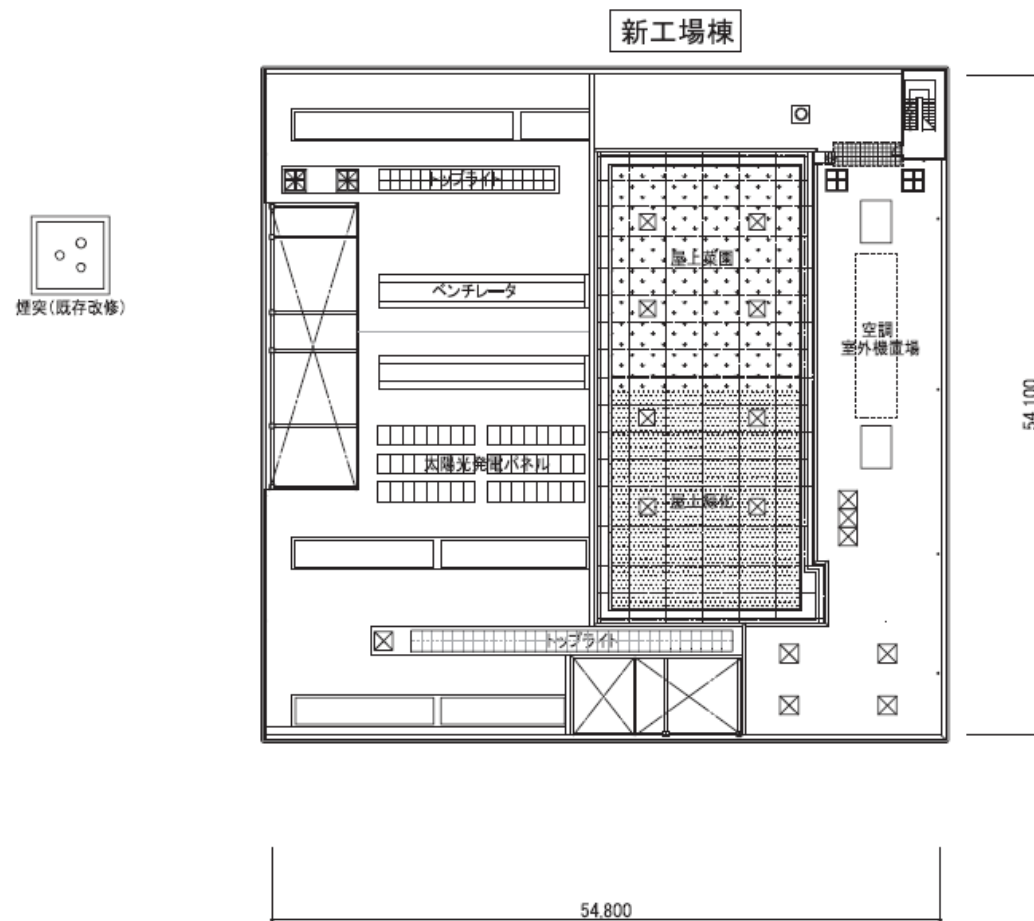


年表と歴史アニメーション

平面図 3階



平面図 屋上



屋上 イメージ

屋上には太陽光パネルの設置、緑化を計画しています。
緑化には生ごみ堆肥を利用する菜園(ベジタブルガーデン)も設置する予定です。

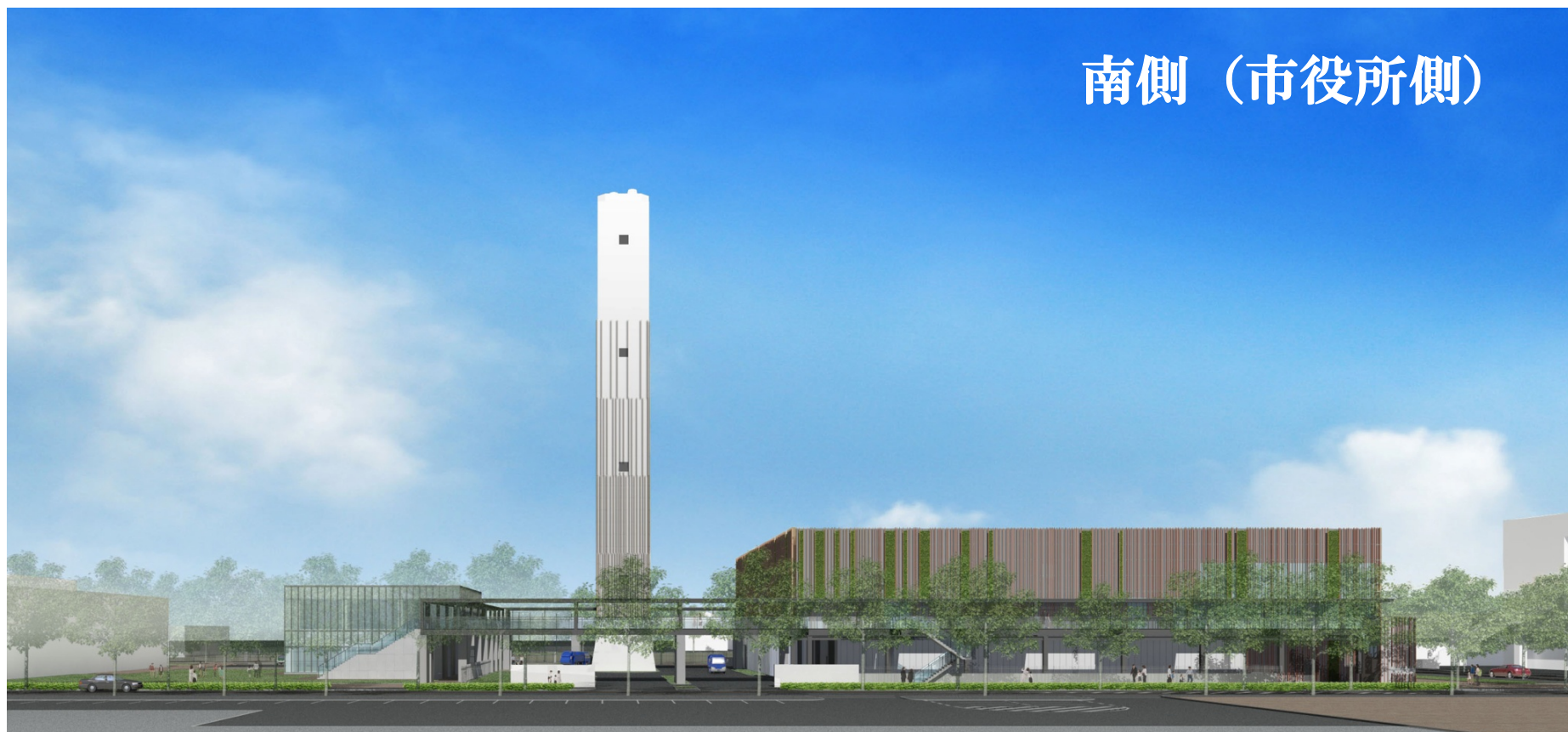


↑ ベジタブルガーデンイメージ



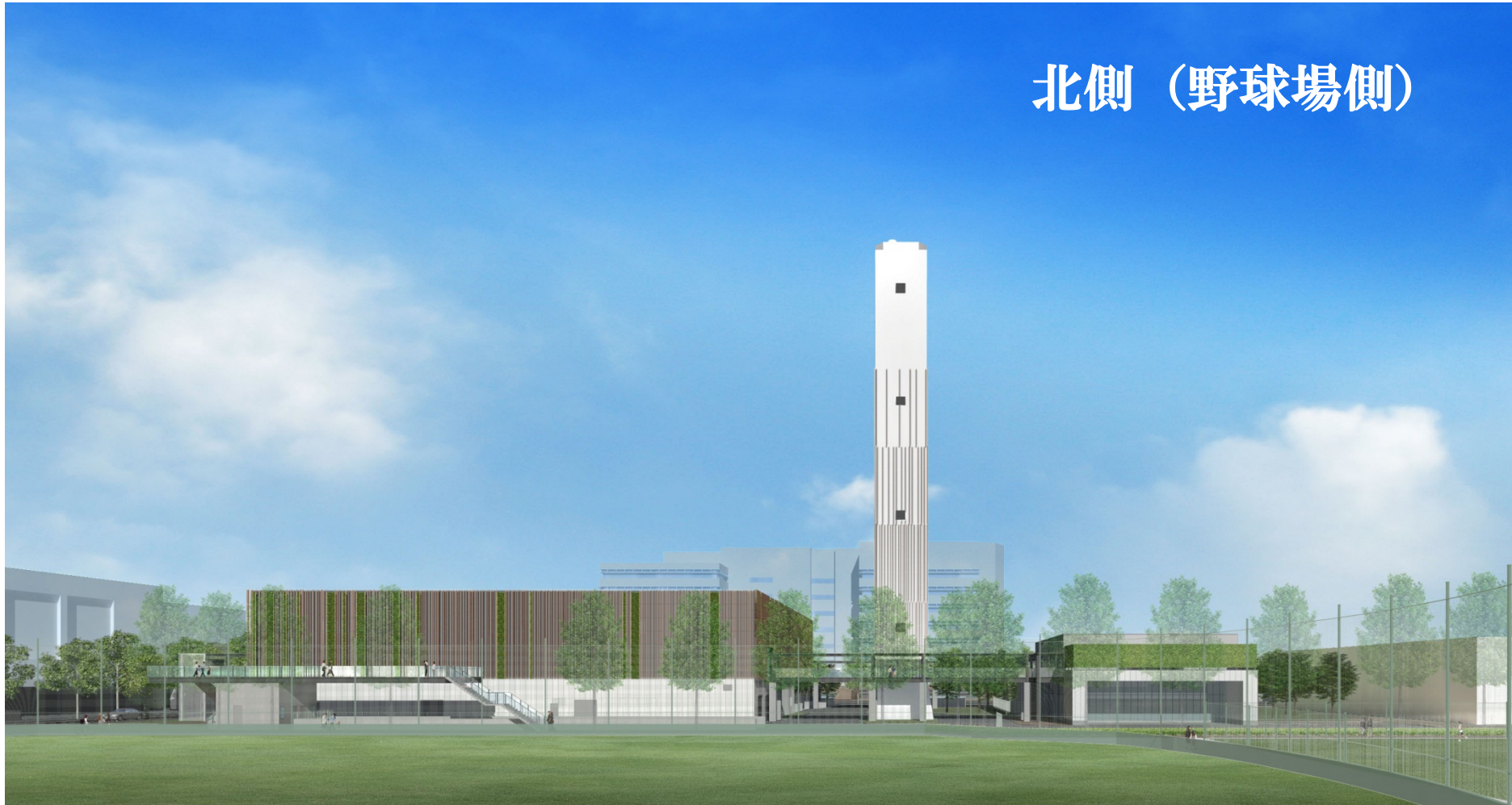
←太陽光パネルイメージ³⁸

景観及び建築デザインに配慮した施設づくり



景観及び建築デザインに配慮した施設づくり

北側（野球場側）



景観及び建築デザインに配慮した施設づくり



景観及び建築デザインに配慮した施設づくり



日影図(時間)

時刻	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
方位角	-53.3294	-42.6898	-30.1744	-15.7339	0.0000	15.7339	30.1744	42.6898	53.3294
倍率	7.2201	3.2888	2.2320	1.8128	1.6942	1.8128	2.2320	3.2888	7.2201
測定面高	4.000								
2.3000	16.6064	7.5644	5.1338	4.1696	3.8968	4.1696	5.1338	7.5644	16.6064
4.2000	30.3248	13.8133	9.3748	7.6141	7.1160	7.6141	9.3748	13.8133	30.3248
4.8000	34.6569	15.7866	10.7140	8.7018	8.1325	8.7018	10.7140	15.7866	34.6569
6.2000	44.7652	20.3910	13.8390	11.2398	10.5045	11.2398	13.8390	20.3910	44.7652
10.8000	77.9781	35.5199	24.1066	19.5791	18.2982	19.5791	24.1066	35.5199	77.9781
55.0000	397.1106	180.8883	122.7649	99.7082	93.1854	99.7082	122.7649	180.8883	397.1106

領域番号	測定面高	規制時間1	規制時間2
		5.0m	10.0m
第1領域	4.000m	4時間00分	2時間30分

ADS-winVer 8.52

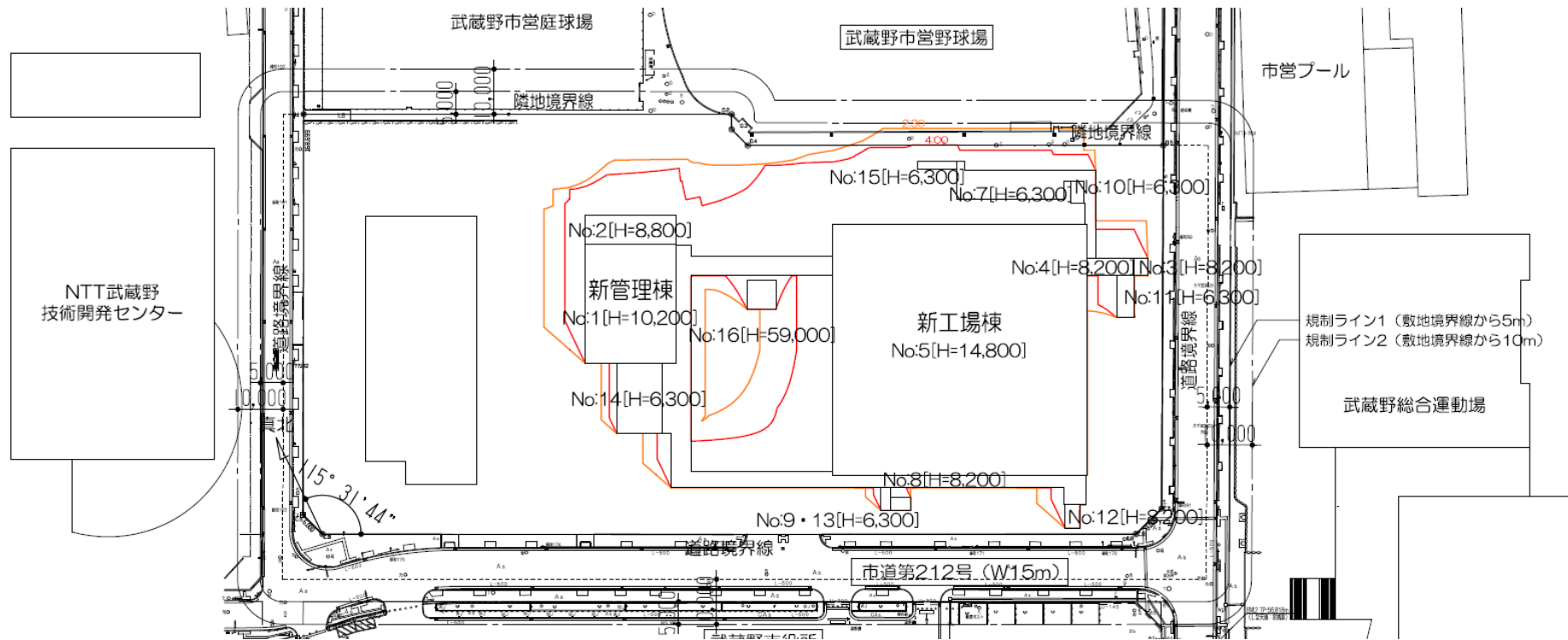


日影図(等時間)

規制値

5 mライン 4 時間

10mライン 2.5時間



環境学習やワークショップ等のサービス提供



武蔵野アップサイクル・コンテストイメージ

ペチャクチャナイトイメージ



武蔵野未来コンテストイメージ

環境に関する講座やワークショップなどを開催できる空間を整備していきます。

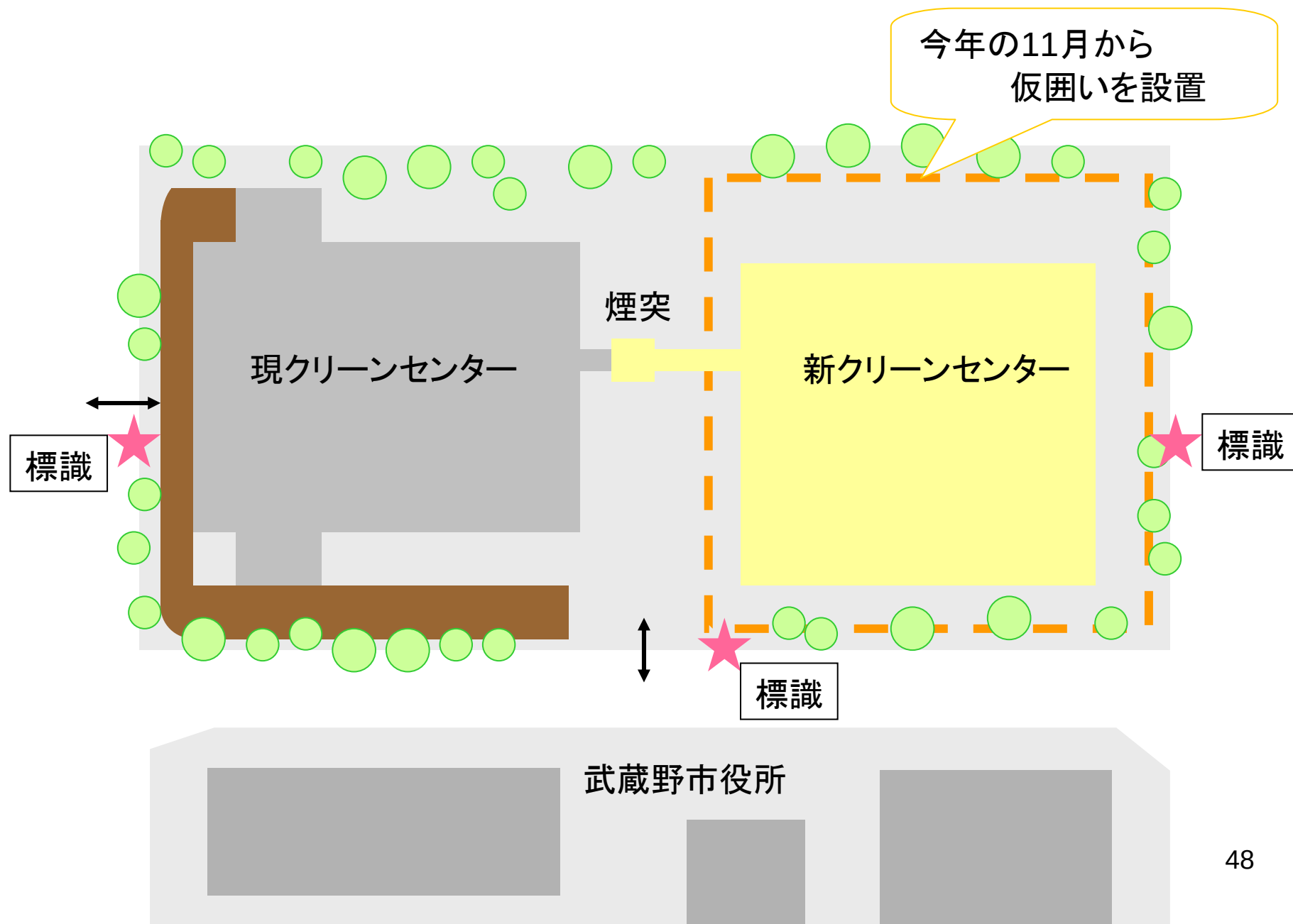
3 スケジュール

新クリーンセンター(仮称)建設事業全体スケジュール

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
基本計画	■									
生活環境影響調査		■	■							
地質調査		■								
事業者選定作業			■							
事業者決定				■						
土壌汚染状況調査			■		■			■	■	
まちづくり条例等手続き				■						
実施設計				■						
新施設整備工事				■	■	■	■	■	■	■
新施設稼働								■	■	■
現施設解体								■	■	
新施設事務所棟等工事									■	■
エコプラザ(仮)リニューアル・外構工事									■	■
最終形										■

今年の11月から仮囲いを設置
⇒準備工事

新クリーンセンター(仮称)建設事業全体スケジュール



次回の説明会について



事業の進捗に合わせ、今後も説明会を予定しています。

日程 平成25年10月ごろ

内容 工事スケジュールなど

＊ 日程等は「説明会のお知らせ」を配布します。





ご清聴ありがとうございました。

